

支部のピックアップ(九州支部)

柳家小きん師匠に土木落語を口演していただきました

◆ 協会本部で「土木落語」を企画

協会本部広報専門委員会では、インフラの必要性や土木技術者の役割を「より多く」の一般の人々に理解いただくための新たな企画として、「落語」という伝統的な芸能を通じて「土木」に関わるテーマを大人から子供までの幅広い世代に親しんでもらえる「土木落語」を企画されました。そこで、一般社団法人落語協会真打の柳家小きん師匠に新作落語制作を依頼し、第一弾作品として2021年に「水屋の夢」、第二弾作品として2022年に「パパは建設コンサルタント」を制作されました。小きん師匠の「土木落語」はYouTubeで公開したものの、イベント等により多くの方に足を運んでもらって、生の落語の楽しさを通じて土木への理解・共感へ繋げることが課題となっていました。

◆ 博多で全国初めての地方口演

九州支部広報委員会の企画運営により、2022年10月11日～12日に福岡国際会議場で開催された「九州建設技術フォーラム2022」に柳家小きん師匠をお招きし、土木落語「パパは建設コンサルタント」を全国で初めて地方口演していただきました。同作品は多くの人に建設コンサルタントを身近に感じてもらう、建設コンサルタントの仕事内容の理解を深める内容になっています。口演後には、柳家小きん師匠を建設コンサルタンツ協会ブースにお招きし、広報活動にも参加いただきました。また、学生向けのリクルーティングプレゼンテーションにも参加していただき、多くの大学生や専門学校生に土木のすばらしさを伝えてもらいました。

◆ さすがプロ！ 地元TVでも放映

聴衆を前にした柳家小きん師匠の口演は、「さすがプロ」と感動する領域であり、口演のほか師匠の持ち時間全体で大盛況となり会場一杯になった来場者は大満足。当フォーラムに参加した約400名の学生へのアンケートでもブース展示に次いで関心をもたれました。

この土木落語の口演風景は、業界紙に取り上げられただけではなく、テレビニュース（地元KBC朝日放送）でも放映され、建設コンサルタントの仕事内容を一般の方に伝える良い広報の機会となりました。



口演される小きん師匠



参加者とのトークショーで田中支部長と



建設コンサルタンツ協会ブース前にて